



# 平成31年4月1日開所 小規模保育事業 募集要項

募集期間：平成30年7月6日(金)～7月25日(水)

こども青少年局こども施設整備課

平成30年7月

# 小規模保育事業 事業実施者募集要項 <目次>

1	小規模保育整備事業について	1
2	募集概要	1
3	整備が必要な地域	3
4	小規模保育事業 整備・運営について	4
5	連携施設の確保について	8
6	補助金審査基準について	9
7	類型別 比較表	10
8	小規模保育事業 申請要件<チェックシート>	11
9	申請方法等について	13
10	問い合わせ先	15
	1 開所までのスケジュール	
	2 給付費について	
	3 連携施設受諾促進加算について	
参考資料	4 平成 30 年度子ども・子育て支援新制度 利用料(保育料)月額	
	5 横浜市保育士宿舎借上げ支援事業 30 年度のご案内	
	6 かながわ保育士・保育所支援センター	

# 1 小規模保育整備事業について

平成 27 年4月子ども・子育て支援新制度で新設された「小規模保育事業」は、2歳までの児童を対象とし、定員6人から19人の少人数で保育を行う事業です。事業の類型がA型(分園型)、B型(中間型)、C型(グループ型)に分かれており、定員等の認可基準がそれぞれ定められています。さらに認可保育所、幼稚園、認定こども園のいずれかと、「保育内容の支援」「代替保育の提供」「卒園後の受け皿の設定」の連携をすることになります。

## 2 募集概要

- 事業者の所有する物件、または事業者が賃借する物件の改修に対して、「**整備費(備品含む)**」、「**工事期間中の賃借料**」について**補助**を行います。補助制度の概略は下記のとおりです。詳しくは、資料3をご覧ください。
- 改修費補助を受けて整備できる事業者は、**以下の条件を満たしていることが必要**です。  
平成 29 年4月1日から申請時点まで継続して、認可保育所・幼稚園・認定こども園・横浜保育室・自治体の認証保育所・地域型保育事業(居宅訪問型保育事業は除く)・認可外保育施設のいずれかを運営していること。

補助制度			
整備費	対象経費	・施設整備費(改修費、設備整備費) ・備品費(1品5千円以上が補助対象。定員数×32,000円(上限)×3/4)	
	補助率	市長が認めた対象経費の4分の3とする。	
	限度額※	A型	1,650万円(2,200万円×3/4)
		B型	6人以上12人以下の場合:825万円(1,100万円×3/4) 13人以上の場合:1,650万円(2,200万円×3/4)
C型			825万円(1,100万円×3/4)
工事期間中の賃借料補助	対象経費	・当該施設における工事着工日もしくは平成30年4月以後の賃料発生日のいずれかのうち早い日付から開所日前日までの月額賃借料。(賃借料免除期間は補助対象外です。) ・礼金 最大6か月分	
	補助率	市長が認めた対象経費の4分の3とする。	
	限度額	月額22万5千円(30万円×3/4)(賃借料・礼金とも共通) ただし、1か月に満たない月は実日数にて日割計算とする。	

(注)市が完了検査を行い、必要と認めた額を交付します。申請額と異なることがありますので、ご注意ください。

- ※限度額は「施設整備費と備品費の合算額」です。実行額が限度額を下回る場合は**実行額の4分の3が補助額**となります。
- 平成30年度中に工事が完了しない場合は、**原則補助対象外**となります。備品は年度内に納品されていることが確認できない場合**対象外**となります。

○ 平成 30 年度の募集スケジュールは下記のとおりです。審議会の審査を経て、結果を通知します。

申請締切日		改修費補助 工事費 1,000 万円超	改修費補助 工事費 1,000 万円以下	備品	工事期間中の 賃借料補助*1
第1期	平成 30 年 4 月 20 日	○	○	○	○
第2期	平成 30 年 7 月 25 日	○	○	○	○
以降は、必要に応じて募集を実施します。					

\*1 改修を行わない場合には補助することができませんので、ご注意ください。  
改修は補助による整備、自主整備どちらでも構いません。

○「整備が必要な地域」に指定されているエリアでのみの申請とします。

○自主財源にて整備を行うことも可能です。

### 3 平成30年度小規模保育事業 「整備が必要な地域」一覧(7月時点)

#### 整備が必要な地域

区	対象エリア	区	対象エリア
鶴見	<b>【鶴見駅東口】</b> （1か所程度） 鶴見中央一～五丁目 <b>【鶴見駅西口（駅徒歩10分圏内）】</b> （1か所程度） 豊岡町、寺谷一～二丁目 <b>【駒岡・獅子ヶ谷】</b> （1か所程度） 駒岡一～五丁目、獅子ヶ谷三丁目	西	<b>【横浜駅・平沼橋駅（駅徒歩10分圏内）】</b> （1か所） 平沼一～二丁目、西平沼町
南	<b>【黄金町駅・阪東橋駅周辺（駅徒歩5分圏内）】</b> （1か所） 前里町1～2丁目、白金町1丁目、高根町	青葉	<b>【藤が丘駅（駅徒歩10分圏内）】</b> （1か所） 藤が丘一～二丁目
磯子	<b>【磯子・汐見台】</b> （1か所） 汐見台一～二丁目、磯子三丁目、磯子台、森一～二丁目*（*環状2号線屏風ヶ浦バイパスより北側）	栄	<b>【大船駅（駅徒歩10分圏内）】</b> （1か所） 笠間一～三丁目、五丁目
戸塚	<b>【戸塚駅（駅徒歩10分圏内）】</b> （1か所程度） 吉田町、戸塚町*（*①JR線線路より東側②国道1号（旧東海道）より西側（ただし、バスセンター前交差点から戸塚小学校入口交差点まで商業及び近隣商業地域を除く③戸塚小学校入口交差点より南側）、矢部町、上倉田町	/	

※各対象エリアにおける整備か所数は 1か所、もしくは1か所程度を予定しています。

※横浜保育室からの移行に関しては、上記記載エリア外の申請でも受け付けます。

※整備が必要な地域に関する問い合わせは下記担当部署にお問い合わせください。

#### 【担当部署】

横浜市子ども青少年局保育対策課

【電話番号】045-671-4468、4220

【電子メール】kd-hoikutaisaku@city.yokohama.jp

【担当者】 各区担当（該当するエリア(区)をお伝えください。）

## 4 小規模保育事業整備・運営について

### (1) 応募可能な事業者について

- ア 法人格を有するものとします。(政治的な目的のために結成された法人、暴力団経営支配法人等を除く。)ただし、C型は個人も申請が可能です。
- イ 小規模保育事業を設置・運営するにあたって、必要な資力・信用があること。
- ウ 整備物件を確保し、又は整備開始までに確保できる見込みがあること。(賃借物件による場合は、横浜市家庭的保育事業等認可・確認要綱第14条による)
- エ 改修費補助を受けて整備する場合は、平成29年4月1日から申請時点まで継続して、認可保育所・幼稚園・認定こども園・横浜保育室・自治体の認証保育所・地域型保育事業(居宅訪問型保育事業は除く)・認可外保育施設のいずれかを運営していること。
- オ その他、市長が不適当と認める事由を有しないこと。

### (2) 開所日について

平成31年4月1日とします。

### (3) 定員規模について

- ア A型・B型は6人から19人までとします。C型は6人から10人までとします。
- イ 各年齢の定員は持ち上がりできる定員設定としてください。
- ウ 認可定員と利用定員は同人数で設定することとします。
- エ 定員設定にあたっては地域の保育ニーズに応じて横浜市との協議に応じていただきます。

### (4) 建物について

- ア 既存建築物を改修して整備する場合は、建築基準法に基づく確認済証及び検査済証の交付が確認できる建物のみ申請可能とします。(確認済証がない場合は、「建築計画概要書」を提出していただきます。検査済証がない場合は、「建築確認申請(計画通知)台帳記載証明書」を提出していただき、検査済証受付年月日の記載があり「未記載」となっていないことを確認します。)
- イ 新耐震基準を満たし、耐震上の問題がない建物とします。(昭和56年5月31日以前に確認済証が交付されている建物で申請する場合は、耐震調査を実施していただき、問題がなかったもの又は耐震補強が済んでいるものを対象とします。)
- ウ 土地建物を賃借して整備を行う場合には、事前協議書提出時までに 予約契約等、小規模保育事業として開所後10年以上利用することについて所有者から合意を得ていることが必須条件となります。
- エ 乳児室、ほふく室、保育室及び屋内遊戯室の面積は有効面積で算出してください。この場合における有効面積とは、内法面積から次に掲げる造付け・固定造作物は除いたものをいいます。
  - (ア) 押し入れ、ロッカー、収納スペース、こども用荷物収納棚
  - (イ) 吊り押し入れ、吊り戸棚(床上140cmの空間を確保したものを除く)
  - (ウ) 手洗い器
  - (エ) ピアノ
- オ 0歳児と1歳児を同じ部屋で保育する場合には 各年齢の保育スペースを区画し、安全性に十分配慮した設計としてください。
- カ 手洗用設備は 保育室内に乳幼児用と保育従事者用と別々に設置してください。また調理員専用の手洗用設備についても衛生管理の観点から調理室内に設置してください。
- キ その他の要件は以下の通りです。
  - 児童福祉法、横浜市家庭的保育事業等認可・確認要綱、横浜市家庭的保育事業等の設備、運営等の基準に関する条例等の基準を満たすこと。

### (5) 設計・工事について

- ア 設計にあたっては、開所後も入所調整時に定員構成に柔軟に対応できるよう間取りを検討してください。
- イ 園児が安全・安心して過ごすため、保育従事者が保育しやすいレイアウトにしてください。(動きやすい動線、園児に目が届きやすい等)
- ウ 開所前に「横浜市建築物シックハウス対策ガイドライン」に沿って、室内の化学物質濃度測定を実施し、基準値以下であることを確認してください。
- エ 本市の補助を受けて改修をする場合、平成30年度内に工事完了、備品納品が確認できない場合は補助対象外と

なります。

オ 各諸官庁への届け出(消防設備関係、給食設備の届け出等)は事業者の責任でもって手続きを行ってください。

カ 工事施工に当たっては、騒音、安全対策、駐車場計画、工事車両通行等に留意するなど、近隣・地域への影響に配慮してください。

キ 事業採択後、平成 30 年 11 月 15 日までに本市の実施設計審査を受けていただきます。

#### (6)入札について

工事の施工業者等の選定にあたっては、市が定める「民間児童福祉施設建設等整備に係る契約指導要綱」及び「契約の手引き」に基づいて入札・契約を実施してください。

不正な行為や条件違反があった場合は補助金の交付決定を取り消し、又は交付した補助金の返還を命じることがあります。

#### 【参考】『契約の手引き』

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/kannsa/file/keiyakutebiki3006.pdf>

『民間児童福祉施設建設等整備に係る契約指導要綱』

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/kannsa/file/keiyakuyoukou.pdf>

『有資格者名簿・指名停止一覧』

<http://keiyaku.city.yokohama.lg.jp/epco/keiyaku/info.html>

#### (7)資金計画について

ア 年間運営事業費の6分の1(約2か月分)の金額を、現金もしくは換金性の高い形態(普通預金、定期預金、国債等)により保有している必要があります。年間運営事業費は、申請時の定員数により 年間で支払われる公定価格に基づき算定してください。公定価格の目安は「参考資料2」をご覧ください。(社会福祉法人・学校法人は除く)

イ 整備に必要な資金が確保されていることを確認します。整備資金に借入金を充てる場合は、返済が確実に見込まれるかどうかを、償還計画書をもとに確認します。

ウ 本申請のほか、施設整備を予定している場合については、申請状況・資金計画について確認します。

エ 開所当初は定員に満たないケースもあるため、余裕をもった資金計画を立ててください。

オ 資金の管理については当該 小規模保育事業専用の独立した口座を設け、その他の事業の会計と区分してください。認可申請時(31年1月頃)までに口座を開設してください。

#### (8)保育責任者・保育従事者について

##### 【保育責任者】

ア 次の条件を全て満たす方となります。

(ア)保育士資格を有すること。

(イ)常勤者(※)であり、他の職務と兼務しない者であること

(ウ)保育士資格を取得してから、保育所等で2年以上の勤務した経験(平成31年3月31日時点の見込みも含む)を有するかもしくはこれと同等以上の能力を有すると認められる者であること。

イ 保育所等とは、認可保育所、保育所以外の児童福祉施設、幼稚園、認定こども園、横浜保育室等の認証保育施設、地域型保育事業のことをいいます。認可外保育施設から小規模保育事業へ移行する場合のみ当該認可外保育施設での勤務した経験も認めています。小規模保育事業の特性上、0歳から2歳の保育経験を有することが望ましいです。

ウ 法人または本人都合による交代

応募後から開所までの間に保育責任者予定者を変更することは、審査対象の変更にあたることから、原則として認めません。

また、園の円滑な運営及び保護者や近隣住民との関係構築の観点から、開所後原則3年間は変更を認めません。

(※ここでいう常勤とは1日6時間以上かつ月20日以上勤務とします。ただし、給付費申請では月160時間以上を常勤としているので、ご注意ください。)

(注)小規模保育事業は、19名以下の少人数による保育であり、従事する職員も認可保育所に比べると少人数であるため、横浜市では、基本的には保育責任者が園の責任者(いわゆる施設長)と現場の責任者(いわゆる主任)の役割を兼ねることができると考えております。

ただし、保育責任者とは別に園の責任者(管理者という)を設けることもできます。その場合は、役割分担を明確にした上で、申請時にご相談ください。(管理者・保育責任者の役割分担を示した書類をご提出いただきます(任意様式))

#### 【保育従事者】

ア 原則、常勤職員とします。やむを得ず短時間職員(1日6時間未満又は月20日未満勤務)を充てる場合には、常勤職員1人あたりの勤務時間数を上回るように、短時間職員を配置することとします。(例:月80時間の短時間職員の場合は2人分で、常勤職員の1人分として算定します。)

(参考)給付費申請の際は月160時間以上勤務する職員を常勤としています。

イ 小規模保育事業B型で勤める無資格者及び、C型の全保育従事者は、県の実施する研修を受講しなければ、保育従事者数に含めることができませんので、ご注意ください。

#### (9)保育内容について

ア 保育時間(開所時間)

(ア)自主財源整備の場合

月曜日から土曜日について原則8時間以上開所すること。(公定価格は11時間開所を想定しているため、8時間開所の場合は給付費が減額となります。)

(イ)本市の補助を受けての整備の場合

月曜日から土曜日について11時間以上開所すること。

イ 休園日

休園日は、日曜日、国民の祝日に関する法律(昭和23年法第178号)第2条及び第3条に規定する休日並びに、12月29日から1月3日の間とします。

ウ 費用負担

本市があらかじめ認めたと延長保育料、実費徴収(延長保育サービスに伴う夕食代、おやつ代等)以外の費用負担を保護者に求めることは禁止しています。

エ 嘱託医

定期健康診断等を行っていただく、嘱託医を置かなければなりません。嘱託医はできるだけ小児科医としてください。それが難しい場合は、内科医としてください。歯科・内科それぞれ選定してください。連携先の嘱託医と兼ねることも可能です。

#### (10)地元説明について

ア 申請段階

整備物件の自治会町内会・連合町内会、ビル所有者、近隣住民(特に隣接する住民)等に対し、申請前に必ず、保育事業の実施についての申請を行う旨の説明をすること。

イ 採択段階

整備について採択された後、地元自治会町内会、近隣住民の方々に整備計画や運営等について説明すること。

ウ 工事説明

工事計画が確定次第、工事スケジュール、連絡先、工事車両の通行等について説明すること。

#### (11)運営委員会の設置について

社会福祉法人及び学校法人以外の法人が認可を受ける際は、「運営委員会」を設置していただきます。運営委員会とは、当該事業所の設置者の相談に応じたり、意見を述べる委員会のことで、委員は社会福祉事業の知識経験を有するもの、保育サービスの利用者、及び実務を担当する幹部職員等で構成します。

#### (12)その他

ア 当該申請による事業採択が、認可を確約するものではありません。年末から年度末にかけて認可書類を提出していただき、内容を確認したのち、認可します。

イ 補助対象となる関係書類は情報公開の対象となります。

ウ 小規模保育事業所において、宗教の教義を広め、儀式行事を行う等、信者を強化育成することを目的とする活動は行わないでください。また、政治上の主義を推進することを目的とする活動も禁止されています。

- エ 整備計画地の周辺に、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条」にあたる営業所が所在している場合、児童の保育環境として大きな課題があるため、申請を受理できない場合もあります。事前にご相談下さい。
- オ 同一エリアで整備予定か所数を超える申請があった場合は、「6 補助金審査基準について」により選考します。
- カ 土砂災害防止法第9条に規定された土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)については、土砂災害による著しい危険が生ずるおそれと考えられるため、神奈川県が、平成30年度に南区・磯子区で区域指定し、順次、市全域で区域指定する予定です。

このため、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)については、原則として新たな整備計画地とすることはできません。今後、土砂災害警戒区域(イエローゾーン)などから土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)に指定された場合、建築物の安全対策や移転などが必要になる可能性がありますので、整備計画地が土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)などに該当していないか、神奈川県土砂災害ポータルなどで、必ずご確認をお願いいたします。

(参考法令等)

- ・土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(※土砂災害防止法)
- ・神奈川県土砂災害ポータル  
<http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html>

## 5 連携施設の確保について

小規模保育事業では、利用児童に対して適正かつ確実な保育を行い、また、利用児童が卒園後も継続的に保育を受けられるように連携施設を確保しなければなりません。近隣の認可保育所、幼稚園（横浜市私立幼稚園等預かり保育事業（通常型・平日型）実施園）、認定こども園と下記の内容について覚書を結んでください。連携先は複数設定していただいて構いません。事業申請までに整備する区こども家庭支援課に事前にご相談いただくことも可能です。

### (1) 連携施設の役割

#### ア 保育内容の支援【必須】

集団保育を通じた児童同士の関係づくりの機会の設定、地域型保育事業に対する相談や助言、その他保育の内容に関する支援等を行っていただきます。認可書類提出時(平成 31 年1月頃)までに必ず締結していただきます。

#### イ 代替保育の提供【任意】

職員が急病や休暇等により保育を提供することができない場合に、代わりに保育を行います。

#### ウ 卒園後の受け皿の設定【必須】

開所日までに、利用児童(2歳児)の卒園後の受け皿となる施設を確保しなければなりません。 困難な場合は、平成 32 年3月まで経過措置期間を設けていますが、2歳児定員全員分の進級先確保の見込みがあることが申請の条件となります。申請書の提出時および面接で進級先確保状況について確認させていただきます。

### (2) 連携先施設

ア 認可保育所、幼稚園、認定こども園のいずれかと締結することが可能です。

イ 連携施設の設定には、保育・教育理念や運営方針等確認しておくことが重要です。

### (3) 連携施設受諾促進加算(横浜市独自加算)

小規模保育事業の卒園後の受け皿の確保や保育の助言・相談、合同保育、行事参加、園庭開放等の保育内容の支援等の連携を促進するため、雇用費等の経費の一部に充当するための助成です。(自園に支払われる助成ではないので、ご注意ください。)

(平成 30 年度)

連携先	月額助成単価		支給条件
認可保育所	A区分	229,500 円	助成を受けるためには支給条件があります。詳しくは「参考資料3」をご覧ください。
	B区分	114,750 円	
幼稚園	A区分	85,000 円	
	B区分	57,400 円	
認定こども園	A区分	229,500 円	
	B区分	85,000 円	
	C区分	57,400 円	

## 6 補助金審査基準について

補助金審査にあたっては、次の項目を評価します。評価細目は例示です。

評価項目	評価細目
1 法人体制	(1) 法人代表の適格性 (2) 経営状況
2 既存施設・事業の運営状況	(1) 保育事業の実績 (2) 監査状況
3 資金計画	(1) 運転資金の確保状況 (2) 償還計画の確実性
4 整備計画(ハード)	(1) 物件の状況 (2) 屋外遊戯場の状況 (3) 保育環境
5 整備計画(ソフト)	(1) 保育責任者の適格性 (2) 保育従事者の状況
6 連携計画	(1) 連携施設の確保 (2) 卒園後の受け皿の確保
7 面接(法人代表者 保育責任予定者)	(1) 施設運営等の方針等 (2) 事業内容の理解

## 7 類型別 比較表

【横浜市家庭的保育事業等の設備、運営等の基準に関する条例に基づく本市基準】

類型		A型(分園型)	B型(中間型)	C型(グループ型)
対象年齢		0～2歳児		
定員規模		6～19人		6～10人
設置主体		法人		—
保育責任者		保育従事者のうち1人を責任者として選任		
保育従事者	資格	保育士	保育士＋保育従事者(注)	家庭的保育者(注)
	職員配置	【0歳児】3:1 【1・2歳児】6:1 ※1 上記に加え、保育に従事する職員を1名追加配置が必要。	【0歳児】3:1 【1・2歳児】6:1 ※1 <u>2/3以上保育士資格</u> を有していること。 ※2 上記に加え、保育に従事する職員を1名追加配置が必要。	【0～2歳児】3:1 ※補助者を置く場合、5:2
保育室等	設備	【0・1歳児】乳児室又はほふく室 【2歳児】保育室		
	面積	【0・1歳児】1人 3.3㎡以上 【2歳児】1人 1.98㎡以上		1人 3.3㎡以上 ※乳児室又はほふく室は、1室ごとに9.9㎡以上とすること。
屋外遊戯場	設備	屋外遊戯場 ※公園や専用敷地があれば代用可能。(児童の歩行速度で5分程度。概ね300m以内。(実測))		
	面積	2歳児1人当たり3.3㎡以上		
給食	給食	原則、自園調理(調理業務の委託や連携施設等からの搬入も可)		
	設備	調理設備(通常のキッチン設備を基に、定員相応の内容) ※調理業務の委託や連携施設等からの搬入の場合も、加熱、保存、配膳等の調理機能が必要。 ※連携施設等から搬入の場合、搬入した給食や検食を保存するための冷凍冷蔵庫(冷凍目安容量70L以上)が必要。		
	職員	調理員 ※調理業務を委託する場合及び連携施設等からの搬入の場合は不要。		
耐火等		保育室等を2階以上に設置する場合 【防災】消火器具、非常用警報器具、手すり等の乳幼児転落防止設備 【耐火】建築基準法に規定する耐火又はイ号準耐火建築物であること		
	避難	認可保育所の基準に準ずる		
連携		【連携内容】「保育内容の支援」「代替保育」「卒園後の受け皿の設定」 ※「保育内容の支援」については、認可までに締結すること。 ※「卒園後の受け皿の設定」については平成32年3月まで経過措置を設ける。 【連携施設】保育所、幼稚園、認定こども園		

## 8 小規模保育事業 申請要件 <チェックシート>

申請に当たっては、次に掲げる必須要件の全てに合致することを確認して下さい。

項目		必須要件	望ましい要件
経営者の社会的信望	社会的信望	<input type="checkbox"/> 設置者が以下に該当しないこと。 (1)成年被後見人又は被保佐人 (2)暴力団経営支配法人等 (3)生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法又は社会福祉法の規定に違反して刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなるまでの者 (4)破産者で復権を得ない者 (5)禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して2年を経過しない者 (6)暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律、暴力行為等処罰に関する法律、刑法第 204 条(傷害罪)、刑法第 206 条(現場助勢罪)、刑法第 208 条(暴行罪)、刑法第 208 条の3(凶器準備集合及び結集罪)、刑法第 222 条(脅迫罪)、刑法第 247 条(背任罪)に違反したことにより、罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して2年を経過しない者。 (7)市税等の滞納があること	
	保育責任者	<input type="checkbox"/> (1)保育士資格を有すること。 (2)常勤者であり、他の職務と兼務しない者であること。 (3)保育所等において2年以上の勤務経験を有すること。 上記の全てに該当する方が責任者になれます。 <b>※原則3年間は、変更を認めません。</b>	<input type="checkbox"/> 3歳未満児の保育経験があること。
	<input type="checkbox"/> <b>補助</b> (3)について、直近4か年のうち、2年以上の実務経験を有すること。		
事業所の状況等	保育従事者	A型 <input type="checkbox"/> <b>【A型】</b> (1)必要となる保育従事者全てが保育士資格を有すること。 (2)原則、常勤職員であること。	
		B型 <input type="checkbox"/> <b>【B型】</b> (1)必要となる保育従事者の2/3以上が保育士資格を有すること。 (2)原則、常勤職員であること。	
		C型 <input type="checkbox"/> <b>【C型】</b> 原則、常勤職員であること。	
	調理員	<input type="checkbox"/> 調理員を配置している、又は認可までに配置できること (連携施設等からの搬入や調理を委託する場合を除く)。	<input type="checkbox"/> 調理師資格または栄養士資格を持った調理員を配置している、又は認可までに配置できること。
開所時間	<input type="checkbox"/> 平日・土曜日ともに8時間以上開所すること。		
	<input type="checkbox"/> <b>補助</b> 平日・土曜日ともに11時間以上開所すること。		
連携施設	<input type="checkbox"/> 保育の支援を受けられる連携施設を認可までに設定すること。	<input type="checkbox"/> ・申請時点で連携について調整済であること。 ・卒園後の受け皿について2歳児定員全員分確保していること。	
経営の安定性	設置者の財政状況	<input type="checkbox"/> 特に経営状況において懸念される点がないこと。 (3年連続の赤字(損失計上)など)	<input type="checkbox"/> 決算における売り上げ及び純利益が3年続けてプラスであること。
	施設の運転資金	<input type="checkbox"/> 設置者が、小規模保育事業の年間運営事業費の6分の1(約2か月分)以上の額を安全性があり、かつ換金性の高い預貯金等(普通預金、定期預金、国債等)により保有していること。	<input type="checkbox"/> 整備費に借入れがないこと。
設備面の構造	<input type="checkbox"/> 新耐震基準を満たし、耐震上問題がないこと。(昭和56年以前に完成した建物の場合は、耐震診断を実施し、問題がないこと。又は補強済みであること。)	<input type="checkbox"/>	

	建築確認手続	<input type="checkbox"/>	確認済証及び検査済証取得済みもしくは取得予定の物件であること。	<input type="checkbox"/>		
	採光	<input type="checkbox"/>	採光のための窓その他の開口部を設け、その採光に有効な部分の面積が、その居室の床面積に対して1/5以上であること。	<input type="checkbox"/>		
	乳児室 又は ほふく室	A・B型	<input type="checkbox"/>	0、1歳児1人あたり、3.3㎡以上あること。(固定家具等を除いた有効面積) 0歳児と1歳児を同じ部屋で保育する場合には区画されていること。	<input type="checkbox"/>	
		C型	<input type="checkbox"/>	1室ごとに9.9㎡(固定家具等を除いた有効面積) 1室で保育する乳児が3人を超える場合は、9.9㎡に3人を超える人数1人につき3.3㎡以上とすること。	<input type="checkbox"/>	
	保育室 又は 遊戯室	A・B型	<input type="checkbox"/>	2歳児1人あたり、1.98㎡以上あること。(固定家具等を除いた有効面積)	<input type="checkbox"/>	
		C型	<input type="checkbox"/>	2歳児1人あたり、3.3㎡以上であること。(固定家具等を除いた有効面積)	<input type="checkbox"/>	
	便所・便器	<input type="checkbox"/>	(1)便所は、保育室・調理室と区画されていること。 (2)便器は、児童10人あたり1個以上あること。	<input type="checkbox"/>	・児童用とそれ以外の者用とがあること。 ・小便器と大便器があること。 ・トイレ専用の手洗い場が設けられていること。	
	調理室・調理設備	<input type="checkbox"/>	・調理室を設ける場合、保育室等と区画(腰高程度で可)し、衛生面で問題のないこと。 ・連携施設等から給食を搬入する場合でも、加熱、保存等の調理機能が必要。	<input type="checkbox"/>	児童1人あたり0.3㎡以上の面積があること。	
	手洗用設備	<input type="checkbox"/>	・乳幼児用と乳幼児用以外のものをそれぞれ設けること	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>	補助 調理室内に調理員専用の手洗用設備が設置されていること。	<input type="checkbox"/>		
	医務室	<input type="checkbox"/>	静養又は隔離機能をもつ「スペース」であること。	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>	補助 静養又は隔離機能をもつ「部屋」であること。 事務室等との兼用も可	<input type="checkbox"/>		
	避難	<input type="checkbox"/>	保育室全体として2方向避難が確保されていること。	<input type="checkbox"/>	入口とは別方向に避難できる避難口がある。	
屋外遊戯場	<input type="checkbox"/>	2歳児1人につき3.3㎡以上あること。 屋外遊戯場を有しない場合、児童の歩行速度で5分程度(概ね300m以内)の場所に公園等があること。距離は実際の歩行ルートで計測すること。	<input type="checkbox"/>	事業所として屋外遊戯場を有すること。		
事業所経営 の安定性	建物の権利関係	<input type="checkbox"/>	次のいずれかに該当すること。 (1)自己所有 (2)賃貸借期間が賃貸借契約において開所後10年以上もしくはそれと同等と認められる契約をされていること。	<input type="checkbox"/>		
	土地の権利関係	<input type="checkbox"/>	次のいずれかに該当すること。 (1)自己所有 (2)賃貸借期間が賃貸借契約において開所後10年以上もしくはそれと同等と認められる契約をされていること。	<input type="checkbox"/>		

## 9 申請方法等について

### 1、申請書の提出について

(1) 提出方法: 申請物件の基準及び整備エリアの適合性等を確認するため、申請を希望される場合は、必ず事前相談にお越しください。なお、申請書類提出の際には電話で日時をご予約の上、直接お持ちいただきますよう お願いします。締切日当日は混み合いますので、なるべく日にちに余裕をもってご準備ください。

(2) 受付時間: 土・日・祝日を除く、8時 45 分から 17 時まで

(3) 受付場所: ども青少年局 ども施設整備課

横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル5階 (最寄駅 JR 関内駅もしくは市営地下鉄関内駅)

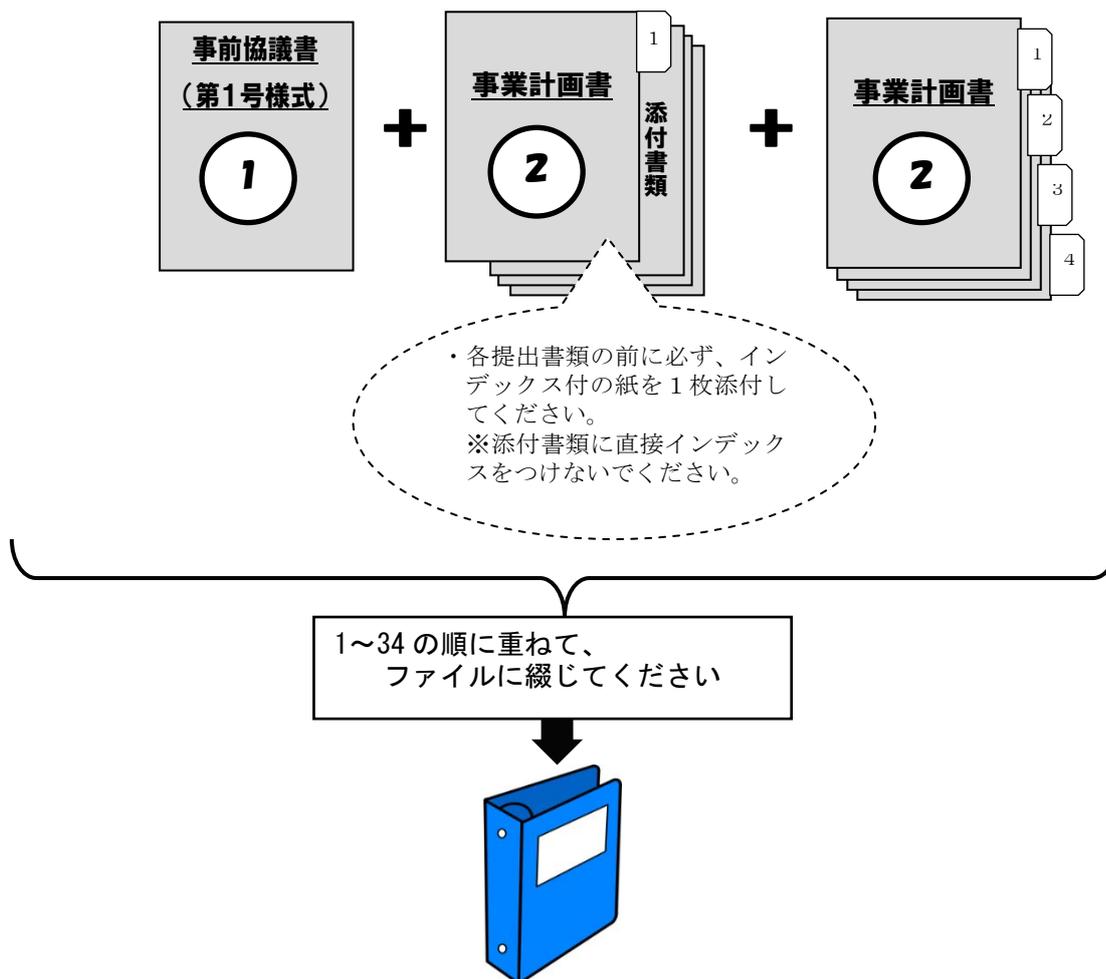
(4) 提出部数: 1部

ア A4縦サイズで統一し、リングファイル(左2穴)に綴じてください。

イ 添付書類には、必ずインデックス(「提出書類一覧」の番号1~34)付の紙の後に該当する資料を付けてください。

ウ リングファイルの内側に提出書類にチェックをつけて「提出書類一覧」を貼付してください。

#### 【提出書類イメージ図】



※不備があると審査ができない場合がありますので、充分にご確認のうえご提出ください。

(5) 提出締切日: 7月 25 日(水)

締切日に申請書類が間に合わない場合は、次回の募集をご案内させていただく場合があります。

(6) 申請内容について、後日確認させていただくことがあります。

## 2、面接について

### (1)日時(予定)

8月上旬

※詳細が決まりましたら、個別にお知らせします。

※日時はこちらで決めさせていただきますので、ご了承ください。

### (2)場所 横浜市庁舎または近傍(面接日時と併せて別途ご案内します。)

### (3)出席者

ア 設置者(もしくは法人代表)【法人役員による代行可】(法人の場合)

※コンサルティング契約先、顧問契約先等の社員による、代理出席は認めません。

イ 保育責任予定者(保育責任者とは別に園の責任者を設ける場合は、その方も同席をお願いすることがあります。)

### (4)面接の内容について

ア 設置者(若しくは法人)の保育に対する考えや園の運営に関する事。

イ 事業申請書に記載された内容に関する事。

ウ 保育責任者としての適格性に関する事。 ほか

## 3、その他

(1) 申請後、面接前までに、申請物件の現地調査をさせていただきます。また、他都市で保育事業を実施している場合は、現在運営している保育施設の調査をさせていただきます。

(2) 申請した保育責任者を設置者(もしくは法人)側の事情による変更は原則認めません。

(3) ご提出いただいた申請書及び添付資料は返却いたしません。(本事業の目的以外には使用しません。)

(4) 審査する上で、必要に応じて追加資料の提出をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。

(5) 「小規模保育事業整備・運営について」以外にも、採択後いくつか条件を附すことがありますので、予めご了承ください。

(6) 提出いただく 平面図は設計士の方 に依頼して作成してください。

## 10 問い合わせ先

### (1) 問い合わせ先及び問い合わせ方法

#### ア 制度・申請方法・申請内容に関すること

不明な点等ありましたら、下記担当までお問い合わせください。

横浜市こども青少年局こども施設整備課 【電話番号】045-671-2398 【FAX 番号】045-663-1925 【電子メール】kd-tiikigata-hoiku@city.yokohama.jp 【担当者】 小規模保育事業担当
---

#### イ 整備が必要な地域・各区のニーズに関すること

下記の部署まで電話又は電子メールにてお問い合わせください。

横浜市こども青少年局保育対策課 【電話番号】045-671-4468、4220 【電子メール】kd-hoikutaisaku@city.yokohama.jp 【担当者】 各区担当（該当するエリア（区）をお伝えください。）
--

### (2) ダウンロードアドレス

申請書等の様式	<a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/incubator/">http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/incubator/</a>
横浜市建築物シックハウス対策ガイドライン	<a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/public-hygi/public-health/sickhouse/pdf/sickhouse-manual.pdf">http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/public-hygi/public-health/sickhouse/pdf/sickhouse-manual.pdf</a>

## 参考資料

- 1 開所までのスケジュール
- 2 給付費について
- 3 連携施設受諾促進加算の諸条件について
- 4 平成30年度子ども・子育て支援新制度 利用料(保育料)月額
- 5 横浜市宿舎借上げ支援事業、30年度のご案内
- 6 かながわ保育所・保育士支援センターのご案内

**参考資料1 開所までのスケジュール(予定)**  
**【補助金整備(工事費 1,000 万円超)】**

	法人及び認可関係の動き	建設関係の動き	補助金関係の動き	市の審査関係
7月25日	提出書類受付締切			
～8月上旬	面接・審査			
9月下旬～ 12月頃	結果通知 【地元説明(設計)】	基本設計着手 基本設計完了		基本設計審査
	理事会開催 (工事入札内容)	実施設計着手 実施設計完了		実施設計審査(11月)
	【地元説明(工事)】	入札参加有資格候補者 報告書提出 入札	補助金交付申請・決定	報告書結果通知
		入札立会報告書・ 一覧表提出		入札立会
				HP掲載
1月頃	認可・確認申請書類 提出			認可・確認申請書 類確認
3月		しゅん工	補助金実績報告書 補助金額確定	完了検査
4月	開園(4月1日) 認可		(補助金受領)	

**【補助金整備(工事費 1,000 万円以下)】**

年月	法人及び認可関係の動き	建設関係の動き	補助金関係の動き	市の審査関係
7月25日	提出書類受付締切			
～8月上旬	面接・審査			
9月下旬～ 12月頃	結果通知	基本設計着手 基本設計完了		基本設計審査
		実施設計着手 実施設計完了		実施設計審査 (11月)
		工事金額見積合わせ	補助金交付申請書 ・決定	
		工事着工		
1月頃	認可・確認申請書類 提出	しゅん工	補助金実績報告書 補助金額確定	完了検査
				認可・確認申請 書類確認
4月	開園(4月1日) 認可		(補助金受領)	

## 参考資料2 給付費について

新制度では保育施設及び事業に対し、国が定める公定価格に基づき給付費をお支払します。給付額は地域区分や利用定員、認定区分による基本額(児童一人当たりの単価)と、職員配置や開所時間による加算額により決定します。詳しくは下記のサイトをご覧ください。

利用者負担は横浜市が保護者の所得に基づき決定した金額を徴収していただきます。

### 【参考サイト】

・新制度全般(内閣府HP)

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/>

・公定価格の単価表(案)

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/administer/setsumeikai/h300307/pdf/s3-1.pdf>

・試算ソフト

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/faq/jigyousya.html>

定員		小規模保育事業 年間運営事業費の目安額 (平成30年度 公定価格概算モデル)	
		年間運営事業費	年間運営事業費の1/6
A型	12人	39,027,960円	6,504,660円
	19人	49,782,280円	8,297,046円
B型	12人	36,900,720円	6,150,120円
	19人	46,943,560円	7,823,926円

※上記金額は目安額となります。定員構成等により変更することがあります。

### 【上記の試算条件】

定員		0歳	1歳	2歳	その他
A型・B型 共通	12人	3人	4人	5人	・保育標準時間認定児童のみで算出 ・処遇改善等加算の加算率は8% ・管理者設置加算 等
	19人	3人	8人	8人	

### 参考資料3 連携施設受諾促進加算の諸条件について(30年度)

連携先	月額助成単価	支給条件
認可保育所	A区分 229,500円	<p><b>支給条件</b></p> <p>下記の条件①ア、イ、ウ全てに該当すること又は条件②ア、イ両方に該当すること。</p> <p>条件ア 保育内容の支援(以下のうち3項目以上に該当する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて連携施設の代替保育を実施することとしている。</li> <li>・事業者からの相談に応じ、連携施設に対して施設や園庭を開放する。</li> <li>・施設の状況に応じ、保育に関する助言を行う等、必要な支援を行う。</li> <li>・連携施設の児童に対して、集団における活動の体験や児童同士の関係づくりの一環として交流保育等を実施する。</li> <li>・連携施設の児童の健康診断や健康管理に関して、必要な支援を行う。</li> <li>・連携施設との合同研修・職員交流を実施する</li> <li>・連携施設への給食の提供を実施している。</li> </ul> <p>条件イ 一時保育事業又は地域子育て支援※を実施している。</p> <p>※地域子育て支援の例 地域の子どもへの園庭開放、地域の保護者への育児講座、育児相談の実施、地域の子育て支援活動への参加(赤ちゃん教室や子育てサロン等)</p> <p>条件ウ 連携施設児童の卒園後の受入枠を設定している。</p> <p><b>単価</b></p> <p>条件①ア、イ、ウ全てに該当する場合                      A区分 229,500円 条件②ア、イ両方に該当する場合                              B区分 114,750円</p> <p>*複数施設と連携している場合も1施設あたりの助成額は同じです。</p>
	B区分 114,750円	
幼稚園	A区分 85,000円	<p><b>支給条件</b></p> <p>条件ア 横浜市私立幼稚園等預かり保育事業(通常型・平日型)を実施している。</p> <p>条件イ 連携施設児童の卒園後の受入枠を設定している。</p> <p>条件ウ 保育内容の支援について、以下の項目を全て実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者からの相談に応じ、保育に関する助言を行う等、必要な支援を行う。</li> <li>・施設の状況に応じ、連携施設に対して、施設や園庭を開放する。</li> <li>・連携施設の児童に対して、集団における活動の体験や児童同士の関係づくりの一環として交流保育等を実施する。</li> </ul> <p><b>単価</b></p> <p>条件① ア、イ、ウ全てに該当する場合                      A区分 85,000円 条件② ア、イともに該当する場合                              B区分 57,400円</p> <p>*複数施設と連携している場合も1施設あたりの助成額は同じです。</p>
	B区分 57,400円	
認定こども園	A区分 229,500円	<p><b>支給条件</b></p> <p>条件ア 連携施設児童の卒園後の受け入れ枠を設定している。</p> <p>条件イ 保育内容の支援を行っている。(以下のうち3項目以上該当する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて連携施設の代替保育を実施することとしている。</li> <li>・事業者からの相談に応じ、保育に関する助言を行うなど必要な支援を行う。</li> <li>・施設の状況に応じ、連携施設に対して施設や園庭を開放する。</li> <li>・連携施設の児童に対して、集団における活動の体験や児童同士の関係づくりの一環として交流保育等を実施する。</li> <li>・連携施設の児童の健康診断や健康管理に関して必要な支援を行う。</li> <li>・連携施設との合同研修・職員交流を実施する。</li> <li>・連携施設への給食の提供を実施している。</li> </ul> <p>条件ウ 3号認定の保育を実施している。</p> <p><b>単価</b></p> <p>条件① ア、イ、ウ全てに該当する場合                      A区分 229,500円 条件② ア、イ両方に該当する場合                              B区分 85,000円 条件③ アのみに該当する場合                                      C区分 57,400円</p> <p>*複数施設と連携している場合も1施設あたりの助成額は同じです。</p>
	B区分 85,000円	
	C区分 57,400円	

平成30年度横浜市子ども・子育て支援新制度利用料（保育料）（月額）

参考資料4

平成30年4月  
（単位：円）

負担区分	認定区分 対象施設・事業 きょうだい区分 保育必要時間	1号		2号（3歳児～） ※満3歳に達する日の翌日以後の最初の4月1日から				3号（0～2歳児） ※満3歳に達する日以後の最初の3月31日まで				3号（0～2歳児） ※満3歳に達する日以後の最初の3月31日まで				
		認定こども園（教育利用） 幼稚園		認定こども園（保育利用）、認可保育所				認定こども園（保育利用）、認可保育所				小規模保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業、新制度対象の事業所内保育事業				
		第1子※	第2子※	第1子※		第2子※		第1子※		第2子※		第1子※		第2子※		
		標準時間	短時間	標準時間	短時間	標準時間	短時間	標準時間	短時間	標準時間	短時間	標準時間	短時間	標準時間	短時間	
A	生活保護世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
B2	市民税非課税	2,100	0	2,100	2,100	0	0	3,200	3,100	0	0	2,800	2,700	0	0	
C	市民税均等割のみ	3,000	0	4,900	4,900	1,700	1,700	6,700	6,500	2,300	2,200	4,000	3,900	1,600	1,500	
市民税所得割額※	D1	市民税所得割課税額 10,000円以下	6,300	2,200	6,400	6,300	2,200	2,200	8,200	8,000	2,900	2,800	5,100	5,000	2,100	2,000
	D2	10,001円以上～48,600円以下	7,500	2,700	7,600	7,500	2,700	2,700	10,000	9,800	3,500	3,400	6,300	6,100	2,500	2,400
	D3	48,601円以上～50,400円以下	9,400	3,300	9,500	9,400	3,300	3,300	12,500	12,200	4,400	4,300	8,600	8,400	3,400	3,300
	D4	50,401円以上～57,700円以下	10,100	3,900	11,000	10,900	3,900	3,900	14,500	14,200	5,100	5,000	10,800	10,600	4,300	4,200
	D5	57,701円以上～77,100円以下	10,100	4,500	12,800	12,600	4,500	4,500	16,500	16,200	5,800	5,700	13,100	12,800	5,100	5,000
	D6	77,101円以上～97,000円以下	15,000	5,500	15,600	15,300	5,500	5,500	20,400	20,000	7,100	6,900	19,000	18,600	7,100	6,900
	D7	97,001円以上～102,600円以下	17,000	6,700	19,500	19,100	6,800	6,700	25,000	24,500	8,800	8,600	21,900	21,500	8,800	8,600
	D8	102,601円以上～120,600円以下	17,000	6,700	21,500	21,100	7,500	7,300	29,000	28,500	10,200	10,000	26,900	26,400	10,100	9,900
	D9	120,601円以上～138,600円以下	18,800	8,100	23,500	23,100	8,200	8,000	34,000	33,400	11,900	11,600	31,100	30,500	11,900	11,600
	D10	138,601円以上～169,000円以下	18,800	8,100	24,800	24,300	8,700	8,500	38,000	37,300	13,300	13,000	35,000	34,400	13,300	13,000
	D11	169,001円以上～174,900円以下	18,800	8,100	25,800	25,300	9,000	8,800	41,500	40,700	14,500	14,200	38,100	37,400	14,500	14,200
	D12	174,901円以上～192,900円以下	20,300	9,300	26,800	26,300	9,400	9,200	44,500	43,700	15,600	15,300	41,000	40,300	15,600	15,300
	D13	192,901円以上～211,200円以下	20,300	9,300	27,500	27,000	12,400	12,100	47,500	46,600	21,400	21,000	43,800	43,000	21,400	21,000
	D14	211,201円以上～228,900円以下	21,800	10,900	28,300	27,800	12,700	12,400	50,200	49,300	22,600	22,200	46,200	45,400	22,600	22,200
	D15	228,901円以上～246,700円以下	21,800	10,900	29,300	28,800	13,200	12,900	53,000	52,000	23,900	23,400	48,800	47,900	23,900	23,400
	D16	246,701円以上～255,700円以下	21,800	10,900	30,400	29,800	13,700	13,400	55,000	54,000	24,800	24,300	50,600	49,700	24,800	24,300
	D17	255,701円以上～264,700円以下	23,000	11,500	31,800	31,200	14,300	14,000	57,000	56,000	25,700	25,200	52,200	51,300	25,700	25,200
	D18	264,701円以上～273,700円以下	23,000	11,500	33,000	32,400	18,200	17,800	58,000	57,000	26,800	26,300	53,600	52,600	26,800	26,300
	D19	273,701円以上～282,700円以下	23,000	11,500	33,900	33,300	18,600	18,200	59,000	57,900	27,900	27,400	55,000	54,000	27,500	27,000
	D20	282,701円以上～291,700円以下	23,000	11,500	35,000	34,400	19,300	18,900	60,000	58,900	29,000	28,500	55,300	54,300	27,700	27,200
	D21	291,701円以上～301,000円以下	24,000	12,000	36,200	35,500	19,900	19,500	61,000	59,900	30,100	29,500	55,600	54,600	27,800	27,300
	D22	301,001円以上～309,700円以下	24,000	12,000	37,400	36,700	20,600	20,200	64,500	63,400	33,100	32,500	55,900	54,900	28,000	27,500
	D23	309,701円以上～335,800円以下	24,000	12,000	38,600	37,900	21,200	20,800	68,000	66,800	36,200	35,500	56,300	55,300	28,200	27,700
	D24	335,801円以上～361,300円以下	25,200	12,600	39,800	39,100	21,900	21,500	71,500	70,200	39,300	38,600	56,700	55,700	28,400	27,900
	D25	361,301円以上～387,700円以下	25,200	12,600	40,900	40,200	22,500	22,000	73,600	72,300	39,700	39,000	57,200	56,200	28,600	28,100
	D26	387,701円以上～397,000円以下	25,200	12,600	42,500	41,700	23,400	23,000	75,600	74,300	40,000	39,300	57,700	56,700	28,900	28,400
	D27	397,001円以上	25,200	12,600	43,500	42,700	23,900	23,400	77,500	76,100	42,600	41,800	58,100	57,200	29,100	28,600
ひとり親世帯等	B1	市民税非課税でひとり親世帯等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	E0	市民税均等割のみでひとり親世帯等	0	0	1,700	1,700	0	0	2,300	2,200	0	0	1,600	1,500	0	0
	E1	D1階層でひとり親世帯等	2,100	0	2,100	2,100	0	0	2,900	2,800	0	0	2,100	2,000	0	0
	E2	D2階層でひとり親世帯等	2,100	0	2,100	2,100	0	0	3,200	3,100	0	0	2,500	2,400	0	0
	E3	D3階層でひとり親世帯等	2,100	0	2,100	2,100	0	0	3,200	3,100	0	0	2,800	2,700	0	0
	E4	D4階層でひとり親世帯等	2,100	0	2,100	2,100	0	0	3,200	3,100	0	0	2,800	2,700	0	0
	E5	D5階層でひとり親世帯等	2,100	0	2,100	2,100	0	0	3,200	3,100	0	0	2,800	2,700	0	0

※きょうだい区分の数は別紙「利用料のお知らせ」をご確認ください。「第3子」以降のお子さんの利用料は無料となります。

※利用料は、市民税の税額控除前所得割額（調整控除後）を基に算定します。市民税が未申告の方等は、最高階層（D27）となります。

※市民税の見方については子ども青少年局のホームページをご覧ください。http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/shien-new/data/h29nyusho/mikata.pdf

## 参考資料5

### ～横浜市保育士宿舎借上げ支援事業、30年度のご案内～

市内保育所等を経営する事業者による、保育士向け宿舎の借上げを支援するために、必要な経費の助成を行います。

#### 【支援対象】

- 市内保育所等(※注1)を経営する事業者が、雇用する保育士(※注2)を、事業者が借上げた宿舎に入居させる場合、宿舎借上げに係る経費を補助

(※注1) 市内保育所等は次のとおり。

- ・ 認可保育所
- ・ 認定こども園
- ・ 認可保育所等への移行を目指し、「移行計画書」を提出した横浜保育室
- ・ 小規模保育事業（A・B・C型）

(※注2) 市内保育所等に勤務する常勤保育士のうち、下記に該当する者

事業者の雇用開始の日が属する会計年度から起算して、10年目の会計年度末までの保育士(30年度は21年度以降雇用)とする。

ただし、施設長及び平成24年度以前に事業者が借り上げる宿舎に入居している者を除く。

#### 【助成内容】

対象経費	雇用する保育士向け、宿舎借上げに係る経費のうち賃借料、共益費(管理費)。 <u>※礼金、更新料、敷金等は対象になりません。</u>
補助率	対象経費の3/4
助成金額	<u>宿舎1戸当たり月額82,000円の3/4(61,000円)を上限</u> (1,000円未満は切り捨て)
助成期間	事業者の雇用する保育士が、借上げ宿舎に入居している期間。ただし、事業者 に雇用された者で、雇用開始の日が属する会計年度から起算して、 <u>10年 目の会計年度末までの保育士(30年度は21年度以降の採用者)</u> とする。

※詳細は裏面参照

#### 【平成30年度補助金申請書の提出期間】

- ・ 平成30年4月から受付を開始します(通年)。

※遡り補助はしません。申請のあった月の家賃分からが対象です。

#### 【応募方法】

申請者は法人単位となります。申請様式や必要書類は横浜市こども青少年局ホームページをご確認ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/kinkyu/syukusya.html>

## 【応募にあたっての申請書類】

第1号様式 横浜市保育士宿舎借上げ支援事業補助金交付申請書（別紙1、2を含む）
第2号様式 平成30年度横浜市保育士宿舎借り上げ支援事業計画書 ※平成29年度交付決定の有無をチェックする欄があります。
第3号様式 平成30年度横浜市保育士宿舎借り上げ支援事業収支予算書
不動産賃貸借契約書（写し）
本人負担額確認書
平成30年度 雇用証明書
住民票（保育士）
保育士証（写し）

### <参考>

#### 対象経費

- ・1戸あたり、月額82,000円の3/4（61,000円）を上限に助成します。  
※国1/2、市1/4、法人1/4

認められる経費	賃借料
	共益費（管理費）

※礼金、更新料、敷金、仲介手数料、補償料等は対象になりません。

#### ★留意点★

- ・事業者が宿舎を借りただけでは、補助対象とはなりません。保育士の入居日（住民票の異動日）から対象となります。
- ・家賃の一部を保育士本人が負担する場合は、家賃から本人負担分を除いた金額が補助対象となります。
- ・住居手当が支給されていないことが条件です。
- ・遡り補助はしません。申請のあった月の家賃分だけが対象となります。
- ・事業者が保育士用宿舎として借り上げている物件が助成対象です。事業者及び職員（職員の親族等を含む）・役員等が所有する物件を貸与している場合は対象となりません。

#### ★変更点★

- ・小規模保育事業C型が新たに対象となります。
- ・途中ででの転居等で、月内に2戸以上の補助対象施設に居住する場合は、旧物件と新物件の助成金額の合計の上限が、61,000円となります。

横浜市こども青少年局 保育対策課  
電話：045 - 671 - 4469  
e-mail:kd-shukusha@city.yokohama.jp

## インターネットによる求人情報のお知らせ

**福祉のお仕事** <https://www.fukushi-work.jp>

福祉のお仕事

「福祉のお仕事」では、全国の福祉人材センター・福祉人材センターより、福祉・介護の求人情報をお知らせいたします。

あなただけはより早く求職ください

- 求職者の立場
- 求人事業者の立場
- 福祉の現場の立場
- 福祉の現場の立場



\*2017年4月よりリニューアル

### \*求職者の皆さまへ

条件を入力していくと、希望にあった求人検索ができます。

### \*求人事業者の皆さまへ

求人募集するときは、「福祉のお仕事」から、事業所登録・求人募集ができます。

\*新規設立法人(事業所)については一度、当センターへお問い合わせください。

## かながわ保育士・保育所支援センターホームページ

[www.kanagawahoiku.jp](http://www.kanagawahoiku.jp)

かながわ保育士・保育所支援センター  
保育のしごと応援サイト!

保育士の資格をお持ちで保育の仕事に就いてみたい方、いずれば職種をお考えの方々の応援サイトです。

保育士・保育所支援センターのご案内

イベント・講習のご案内

お知らせ・最新情報



当センターで行う講座やイベント情報等を掲載しています。

当センターへの登録もここからできます。

## 保育の求人・求職をお待ちしています!

かながわ保育士・保育所支援センターは、労働局から無料職業紹介所として認可を受けた「かながわ福祉人材センター」内に設置され、保育関係の求職および保育所等からの求人のマッチングをおこなっています。

### 求職対象職種

神奈川県内で保育関係の仕事をしたい方であれば、どなたでもご利用いただけます。

保育士、栄養士、看護師、調理員、保育補助員等

### 求人対象施設

神奈川県内にある施設であれば、法人格等にかかわらずご利用いただけます。

認可保育所、認可外保育施設(自治体の補助対象となっている施設)、家庭の保育事業・小規模保育事業等の地域型保育事業、事業所内保育施設(国の補助対象となっている施設・院内保育施設)、児童福祉法に定める児童福祉施設等(乳児院、児童養護施設、助産施設、母子生活支援施設、児童厚生施設、障害児入所施設、児童発達支援センター、放課後児童クラブ等)、認定こども園



社会福祉法人  
神奈川県社会福祉協議会  
かながわ福祉人材センター内  
**かながわ保育士・  
保育所支援センター**

開所時間 月▶土曜日 9:00▶17:15 (12:00▶13:00 昼休み)

日曜日・祝祭日、年末年始およびかながわ県民センター休館日は閉所

所在地 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

かながわ県民センター13階(かながわ福祉人材センター内)

TEL 045-320-0505 FAX 045-313-4590

E-mail hoiku\_jinzai@knsy.jp

HP [www.kanagawahoiku.jp](http://www.kanagawahoiku.jp)

Illustration by Osamu Kawamura

資格をいかして、子どもたちの笑顔に  
そんなあなたを応援します。 **参考資料 6**  
働きたい!

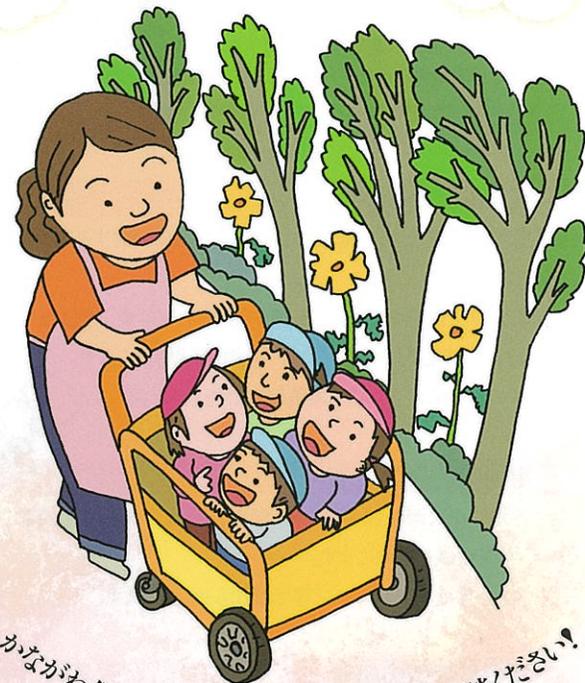
# かながわ保育士・ 保育所支援センター

保育士を  
紹介してほしい

もう一度保育士として  
働きたい

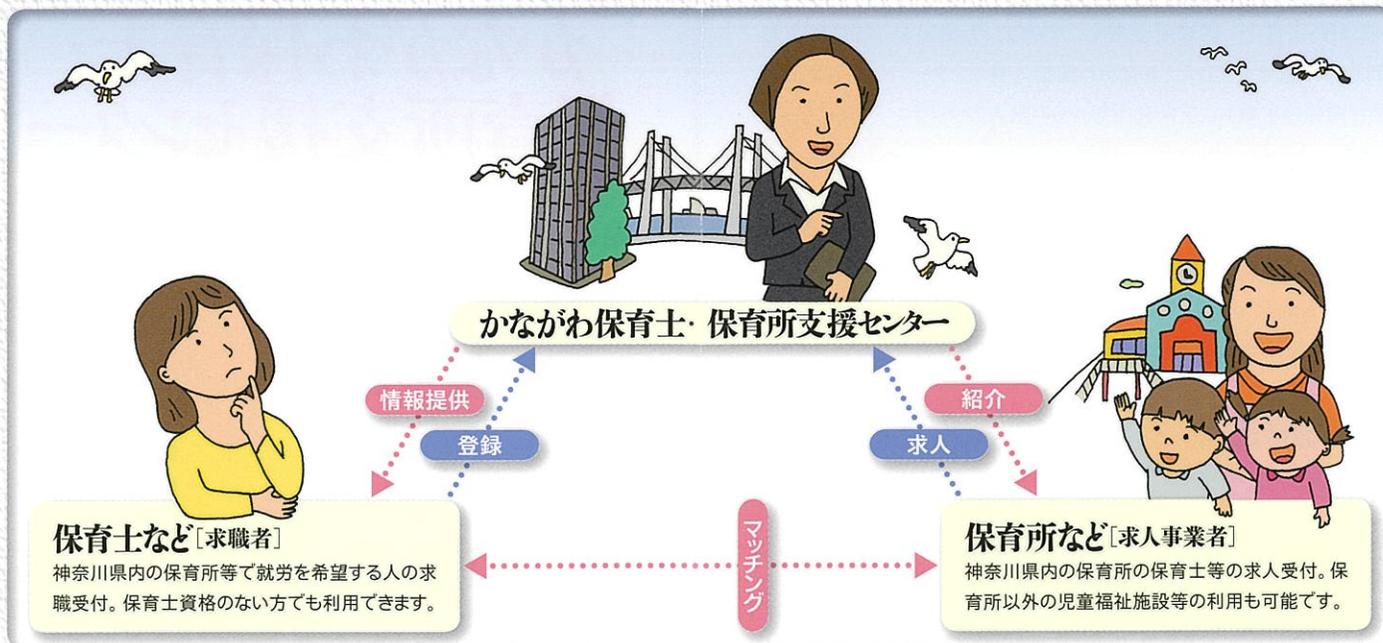
保育所の看護師や  
栄養士を募集したい

保育士の資格を  
いかして働きたい



かながわ保育士・保育所支援センターにご相談ください!

かながわ保育士・保育所支援センターは、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市の共同事業として神奈川県社会福祉協議会が委託を受けて運営しています。



### 保育士など〔求職者〕

神奈川県内の保育所等で就労を希望する人の求職受付。保育士資格のない方でも利用できます。

### 保育所など〔求人事業者〕

神奈川県内の保育所の保育士等の求人受付。保育所以外の児童福祉施設等の利用も可能です。

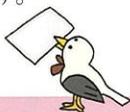
### ❁ 就職相談・コーディネート

経験豊富な保育士が、電話や面談により就職に関するご相談に応じます。

ご希望により、就職先の情報提供や見学等の調整、紹介をします。

就職にあたって心配や不安なことへの相談と助言もします。

ブランクのある保育士の方もお気軽にご相談ください。



### ❁ 出張相談会の実施

県内各地にかながわ保育士・保育所支援センターの相談窓口が出張して個別相談に対応します。

日程・会場等はホームページ等でお知らせいたします。

### ❁ 職場見学等の調整

応募したいと考えている求人先の職場見学や仕事体験などのご相談を受け、調整をいたします。職場見学、仕事体験にあたっては求職登録が必要です。

### ❁ 保育に関する情報提供

保育に関わるさまざまな情報（資格や制度、就職相談会の開催日程等）をメールなどでお知らせします。

### ❁ 就職支援セミナー・相談会の開催

県内各地で就職支援セミナーや就職相談会を開催しています。詳しい日程・会場等はホームページ等でお知らせします。

### ❁ 就職支援セミナー

就職にあたって参考になる情報を聞くことができます。

【例】 保育園の一日の流れ、仕事の内容

保育をめぐる最近の状況

保育の仕事に復職・転職した人の経験談等

### ❁ 就職相談会

県内各地から保育所がブースを出展し、それぞれの園の特徴や求めている人材について直接聞くことができます。



## まずはセンターに登録!

さまざまな情報やアドバイスが受けられます。

かながわ  
保育士・保育所  
支援センター!



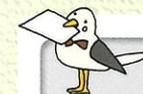
### すぐに就職したい方

- ◆ 就職相談
- ◆ 職場見学等の調整
- ◆ 求人情報の提供
- ◆ 就職先の紹介

### いずれ就職しよう と考えている方

- ◆ 保育の資格や仕事に関する情報提供
- ◆ 各種セミナー等のご案内

かながわ保育士・保育所支援センターの各種事業への参加は、雇用保険の求職活動実績対象となります。



保育士資格をもっているが、  
保育の仕事をしたことがない方または、  
保育士として働いていたが、1年以上ブランクのある方へ

### ❁ 保育士就職準備金について

保育士の資格保有者が保育の仕事に就職する際、準備金の貸付を受けることができます。神奈川県内で2年間保育の仕事に従事すると返還が免除となります。

貸付申請にはかながわ保育士・保育所支援センターへの離職登録および求職登録が必要です。

離職登録 [www.kanagawahoiku.jp/regist/form.asp](http://www.kanagawahoiku.jp/regist/form.asp)

求職登録 [www.kfjc.jp/for-seeker/form.asp](http://www.kfjc.jp/for-seeker/form.asp)

貸付に関するお問い合わせは、かながわ福祉人材センターへ

TEL 045-312-4816